

普及活動情勢報告（平成27年1月分）

中央西農業振興センター 高知農業改良普及所

～高知のお酒は高知の米で～ J A高知市稲作部会酒米勉強会の開催



1月14日 J A高知市本所婦人の家で酒米勉強会が開催され、生産者24名が集まりました。

初めに農業改良普及所から県産酒米の使用状況と生産振興について生産量・品質の課題を説明しました。そのあと、全農から酒米の生産状況について報告があり、農業技術センターから酒米の栽培技術について解説しました。

質疑・意見交換の時間では、最近の品質の状況や、今後の酒米品種開発について望まれる熟期等について情報交換が行われました。

農業改良普及所では、今後も酒米の増産に向けた取り組みについて支援を行っていきます。

～安全で安心なナシ作りを目指して～ 針木梨組合の勉強会の開催



1月16日、果樹試験場で針木梨組合のせん定講習を中心とした勉強会が行われ、18名が参加しました。

初めに果樹試験場からナシのせん定の実演が行われ、その後、会議室で、生産者からの要望が出ていた「GAP」について、農業改良普及所からスライドを用いて説明を行いました。

「GAP」について初めて聞くという人もおり、勉強するには良いきっかけとなり、既に知っている人は、再確認の勉強会となりました。

今後も農業改良普及所では安全で安心な生産に向けた取り組みについて支援を行っていきます。

～集落営農の取り組みを知ろう～土佐山都網地区集落営農先進地視察（四万十町）



1月23日に、高知市と農業改良普及所とで、高知市土佐山都網地区の農業者を対象とした集落営農先進地視察研修を実施し、生産者16名が参加しました。

視察研修は、四万十町にある、見付権七宮農協議会と（株）サンビレッジ四万十の2カ所を訪問し、代表者の方から取り組みの経過等についてお聞きしました。

参加者からは、機械の共同化や取り組みの進め方等について質問も多く出され、集落営農の取り組みについて関心も高まった様子でした。

農業改良普及所では都網地区における集落営農の取り組みの推進や組織設立に向けて、引き続き支援を行っていきます。